

2025年 中野若者会議

報告書



つなげる はじまる なかの
中野区 × KATARIBA
未来は、つくれる。
Shape the Future.



主 催 中野区
運 営 認定NPO法人カタリバ

ここからつながる、
中野若者会議

2026年3月

中野区 子ども教育部 子ども・教育政策課

認定NPO法人カタリバ

目次

① 中野若者会議とは

理念・概要・テーマ	P.2
これまでの実績	P.5
今年度の参加者概要	P.6
今年度の活動モデル	P.7
各回実施内容	P.9

② チャレンジ詳報

1. まちを知ろう（文化財）	P.17
2. 若者施策を広めるには？	P.21
3. 健康になるつながりづくりとは？	P.24
4. 中野でエコを楽しみ、得するには？	P.28
5. 自由に挑戦しよう（情報発信）	P.29

③ 寄せられた感想

参加者アンケート	P.34
観覧者アンケート	P.38

① 中野若者会議とは

理念・概要

大学生・社会人の視点を地域づくりにつなげるために、中野区ではどのようなアクションが必要なのでしょうか。「若者会議」は、若者ならではの視点を区政や地域に生かすとともに、若者と地域のつながりを構築していくため、2022年度に始まったプロジェクトです。2023年度以降は、2022年度提言した「若者会議のあり方」をもとに複数のテーマに分かれて活動し、2025年度もそれを一部継承する形で5つのテーマに分かれて活動しました。



今年度のテーマ

メンバーは、自分自身の興味・関心を原点に、取り組みたい「チャレンジ」を自分で選択していきます。フィールドワークやインタビューを経てテーマを深め、自分たちにしかできない「アクション」を実践する過程で、区長に対する提言をまとめていきます。

入門 まちを 知ろう	1	まちを知ろう（文化財）
		いきなり政策提言はハードルが高い…と感じる方のためのコースです。中野の地域団体に参加・協力するアクションを通してまちを知り、つながり、ローカルな仲間をつくりましょう。今年度は文化財をテーマにしたチームが発足しました。
発展 地域・ 区政に 声を届 けよう	2	若者施策を広めるには？
		中野区の若者施策を区内外に広めるにはどのような工夫が必要なのでしょうか。若者会議に参加しながら、若者のための取組を学び、広めていくためのアイデアを考えましょう。
	3	健康になるつながりづくりとは？
		若者の「健康づくり」「つながりづくり」や「歩きたくなるまちづくり」のために必要なこととは？中野区が新たに推進するスマートウェルネスシティ構想（SWC）に沿って、実践・提言しましょう。
4	中野でエコを楽しみ、得するには？※	
	持続可能な未来のために、私たちの生活をエコにしよう。情報発信やイベントを通して、環境のためのプロジェクトに取り組みます。	
自主 自由に 挑戦し よう	5	自由に挑戦しよう（情報発信）
		自主的なアイデアに沿って地域活動を実践し、区長に提言します。若者会議の修了後も区の制度などを活用しながら、継続的な活動へつなげていくことを目指します。今年度は昨年度の提言を引き継ぐ情報発信チームが発足しました。

※今年度はチームが結成されず、有志でティーンズ会議と連携した取組を行いました。

実施の背景

中野区基本構想（令和3年3月23日改定）において、「10年後に目指すまちの姿」が4つ定められました。



「(2) 未来ある子どもの育ちを地域全体で支えるまち」において、「子どもたちは、未来に向けて、チャレンジしながら成長しています。子育て家庭は、地域社会に支えられ、安心して子育てをしています。子どもの育ちを、未来の希望として、地域全体で支えるまちを築いていきます。」という記載とともに、若者に対する考え方が下記のようにまとめられました。



若者のチャレンジを支援します

若者は、幅広い交流や様々な活動の機会などを通じて、チャレンジしながら成長しています。一人ひとりの課題の解決に向けて支える体制が整っています。

これまでの実績

2022年度は、中野区において、新しく始まった若者会議をどんな場として運営していくべきか、6ヶ月間にわたり「若者会議のあり方」について構想を進め、区長に提言を行いました。



① 構想プロセス

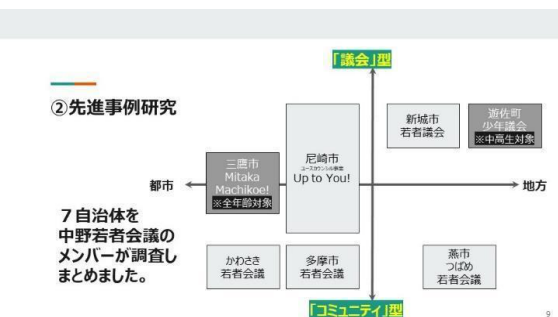
中野若者研究 × 先進事例研究

若者会議での議論

提言書

NO.	日時	会場	内容
1	7/31 6:00	区庁1	プロシエが提案したワークショップの発表
2	8/18	区庁1	子どもたちの成長のまちづくりの議論
3	9/23	中野区庁1	区長室 片岡区長
4	9/26	区庁1	開会式 片岡区長
5	10/16	中野区庁1	山形県産産科 少年課長 佐藤健太郎
6	10/17	中野区庁1	福島県 福島県庁
7	10/16	中野区庁1	中野区庁1のまちづくり 区庁1のまちづくり(区庁1のまちづくり)
8	10/27	中野区庁1	中野区庁1のまちづくり委員会 橋本伸弘
9	11/20	中野区庁1	区長室 教育政策 橋本伸弘
10	11/20	中野区庁1	中野区庁1のまちづくり委員会 シンクグループ レポート
11	12/3	中野区庁1	区庁1のまちづくり委員会
12	12/27	中野区庁1	区庁1のまちづくり委員会
13	12/27	中野区庁1	区庁1のまちづくり委員会
14	1/15	区庁1	若者会議1期メンバーのワークショップ

「若者会議のあり方」提言のポイント



構想を進めるにあたって、全国の先進事例の研究を進めました。特に兵庫県尼崎市からはゲストをお招きし、先行事例を伺ったうえで調査を進めました。

⑥ 中野区モデル「若者会議」5つの提言

- 中野区モデル若者会議とは、
- ①. まちを知る「入り口」です。
 - ②. まちとつながる「サードプレイス」です。
 - ③. まちで「チャレンジ」できる機会です。
 - ④. まちに「若者の声」を届ける場です。
 - ⑤. まちの中高生の応援者です。

最終的に5つのポイントを提言しました。地域とつながる機会を得にくい若者のために、若者会議がハブになっていくという趣旨です。

おわりに

若者×まち=新しい中野の可能性！



文責：若者会議1期メンバー

実際に2023年度以降のプログラムは、この提言書に沿って企画進行しました。若者会議によって構想された若者会議が本格的に動き始めています。

今年度の参加者概要

今年度の初回は、まずは雰囲気を知るための体験の場として、体験回を実施しました。体験回には20名が参加し、体験回を経て15名が本申し込みをして、参加しました。



	区内在住	区外在住	合計	備考
学生	5	1	6	・うち2名は継続参加
社会人	8	1	9	・うち6名が継続参加 ・中野ハイティーン会議修了者1名
合計	13	2	15 (14)	

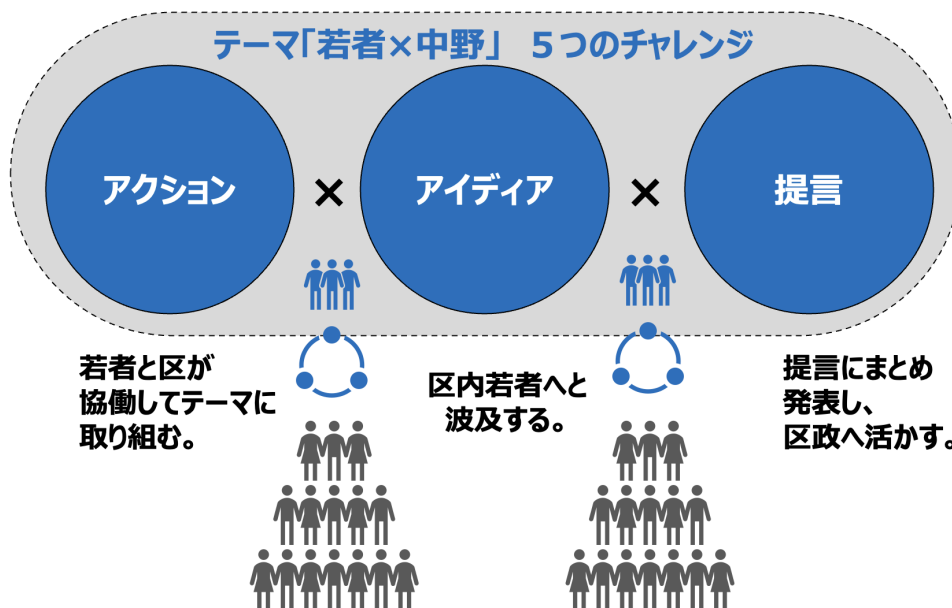
※()の数字は、活動を修了した人数

今年度のチラシのモデルとなったのは、若者会議2・3期のメンバーです。

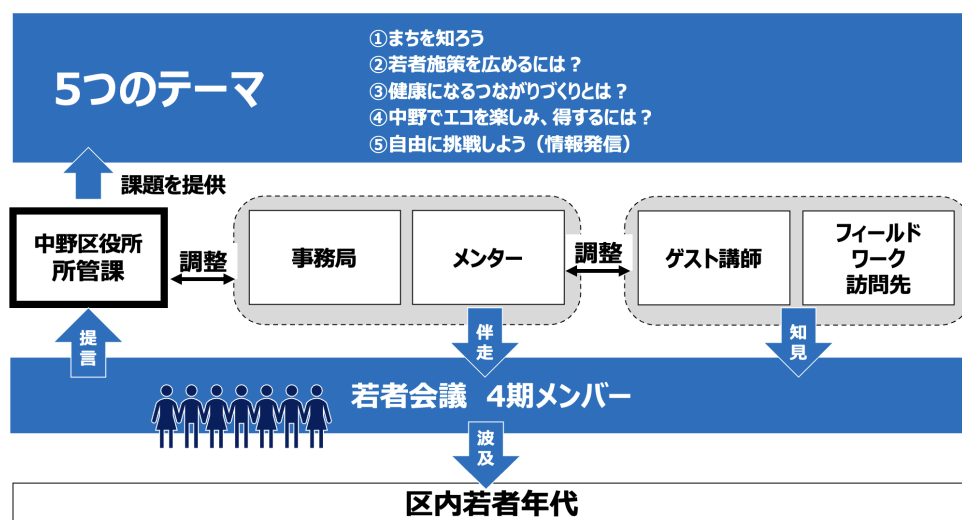


今年度の活動モデル

5つのテーマにもとづいて、若者と区役所所管課が協働してアクションを起こし、区長への提言を行うのが2025年度中野若者会議の活動モデルです。



特に先進事例である区外で活動する団体へのフィールドワークや情報交換を行うことを重視し、テーマごとのメンターが活動を支えながら、プログラムを進行しました。



※今年度はテーマ④「中野でエコを楽しみ、得するには？」はチームが結成されず、有志でティーンズ会議との連携した取組を行いました。

年間スケジュール

中野若者会議は7月から12月にかけて、毎月主に第3日曜日に計7回のプログラムを実施しました。スケジュールの合間には、多数の自主活動も行われました。

また、同日開催となったティーンズ会議との連携・協働も企図しました。

	(参考)ティーンズ会議		若者会議		若者会議の流れ
7月13日(日)	第1回	10:00~13:00	体験回	14:00~17:00	オリエンテーション
7月27日(日)	第2回	10:00~13:00	第1回	14:00~17:00	テーマ決め
8月17日(日)	第3回	10:00~13:00	第2回	14:00~17:00	フィールドワーク
9月4日(木)			課外	9:00~13:00	情報発信ミーティング
9月20日(土)			課外	15:00~16:30	まごころドーナツ視察
9月21日(日)	第4回	10:00~13:00	第3回	14:00~17:00	中野区所管課ヒアリング
10月13日(月)			課外	10:00~12:00 1 7:00~19:00	アクション
10月19日(日)	第5回	10:00~13:00	第4回	14:00~17:00	アクション
11月2日(日)	第6回	10:00~13:00			
11月8日(土)	課外	9:00~15:00	課外	9:00~15:00	なかのエコフェア
11月10日(月)			課外	14:00~15:00	情報発信ミーティング
11月15日(土)			課外	13:00~17:00	わかものまちなみサミット
11月16日(日)				10:00~17:00	@茨城県東海村
11月23日(日)	報告会	13:00~17:00	第5回	10:00~17:00	アクション・提言準備
12月14日(日)	見学	13:00~17:00	報告会	11:00~17:00	提言

参考テキスト

『わかものまちなみづくり方 ハンドブック

-日本版ローカル・ユースカウンシルのづくり方と考え方-

(2018年6月発行/NPO法人わかものまちなみ)

若者の地域参加の基本的な考え方や目標について、先行事例をもとにメンバーの認識を合わせながらプログラムを進行しました。



わかものまちなみとは何か？

このハンドブックで紹介するユースカウンシルは、「わかものまちなみ」を実現するためのひとつの方法です。社会の中で影響力が得ず、比較的に立場になりがちな若者が、まちの主人公となって積極的に地域に参画しているまちなみ『わかものまちなみ』を指します。例えば、『わかものまちなみ』には、下のようなものがあります。

ユースセンターがある 若者が自由に集まり、自分の好きな時間を過ごすことができる場所がある。 	若者ファンドがある 若者の様々な活動に財政的な支援をするファンドがある。 また、その運営には若者も関わる。 	体系的な若者政策がある 若者の声をまちの政策に反映させることを盛り込んだ政策がある。 	地域と若者をつなぐコーディネーター(ユースワーカー)がいる 若者が困った際、悩みを話し合いたいと思った時に、相談に乗ってくれる大人が身近にいる。 若者の成長を手助けしてくれる。
若者に関して話し合う会議に若者が必ず参加している 若者に関する問題を大人だけでなく、当事者である若者と一緒に話し合う。 例えば、行政や学校の会議など。 	若者フォーラムが開催されている 1年に1回、若者が自分たちの地域の若者政策やまち全体について考えるフォーラムを開催している。 	私たち若者が住みたいまちを実現するための方法、ユースカウンシルのづくり方と考え方をこのハンドブックで紹介しています。 	ユースカウンシルがある 若者が住みたいまちを若者自身の手で実現するための仕組みがある。

各回実施内容

体験回 7月13日14:00~17:00

お互いを知り、つくりかたを学ぶ。

1 自己紹介シート・自己紹介ゲーム

自己紹介シートを作成してオリエンテーションを行いました。



2 中野若者会議の構想紹介

(あいさん/若者会議1期メンバー)

中野若者会議のあり方の構想を発表しました。



3 若者会議事例の紹介 ゲストトーク (1)

(あゆみんさん/ハレノバ副代表/若者会議1,2期メンバー)

任意団体ハレノバの活動事例を紹介いただきました。



4 若者会議事例の紹介 ゲストトーク (2)

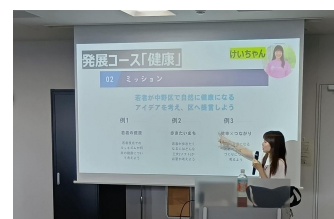
(みきさん/若者会議1~3期メンバー)

提言実現事例をご紹介いただきました。



5 テーマ紹介

各テーマの内容を紹介しました。



DAY1 7月27日14:00~17:00

中野を知り、テーマを選ぶ。

1 任命式・名刺の授与

中野若者会議の名刺の授与式をしました。



2 テーマ分けグループワーク

自分たちが活動したいテーマはどれか、ワールドカフェ形式でテーブルを周りながら意見を出し合いました。



3 チーム結成

最終的に結成したチームごとにお互いがなぜこのテーマでの活動に決めたのか、紹介しました。このチームで本格的な活動がついに始まります。



4 多摩市若者会議訪問

終了後の課外活動として、有志で多摩市若者会議が活動している「MichiCafe」を訪問しました。



DAY2 8月17日14:00~17:00

区内外へフィールドワーク！

1 チーム紹介

今年は4つのチームが結成されました。この日からチームごとに分かれての活動が本格化していきます。まずはどんな顔ぶれでチームを結成したか、お互いに紹介しました。



2 区内フィールドワーク

4つのテーマに沿って、区内の事例を知るためのフィールドワークに出発しました。



	チーム	訪問先
①	まちを知ろう（文化財）	江古田古戦場跡、中野沼袋氷川神社、中野氷川神社、宝仙寺、成願寺
②	若者施策を広めるには？	希望丘青少年交流センター「アップス」（世田谷区） まごころドーナッツ視察（別途9/20に訪問）
③	健康になるつながりづくりとは？	中野区立中野中学校、NYAカフェ
④	自由に挑戦しよう（情報発信）	別途課外活動を実施
⑤	中野でエコを楽しみ、得するには？（参考）	11/8エコフェア当日のみ活動



DAY3 9月21日14:00~17:00

中野区役所へのヒアリング

1 提言に向けて中野区役所へヒアリング

5つのテーマに関連する所管課をお呼びして現時点での方向性の共有やヒアリングをしました。



	チーム	ヒアリング先
①	まちを知ろう（文化財）	文化振興・多文化共生推進課
②	若者施策を広めるには？	子ども・教育政策課、育成活動推進課、子ども・若者相談課
③	健康になるつながりづくりとは？	地域包括ケア推進課
④	自由に挑戦しよう（情報発信）	文化振興・多文化共生推進課
⑤	中野でエコを楽しみ、得するには？（参考）	環境課

2 アクションDAYに向けた準備

テーマごとに提言に向けてどんなアクションをするのか計画を立てました。



	チーム	アクション計画
①	まちを知ろう（文化財）	10/19 中野区検定勉強会
②	若者施策を広めるには？	11/15-16 わかもののまちサミット
③	健康になるつながりづくりとは？	10/13 運動イベント(TAC中野) 11/23 運動イベント(中野区役所)
④	自由に挑戦しよう（情報発信）	9/4,11/10 情報発信ミーティング 10/19 ためまっぷなかのの歌ライブ、イベント告知
⑤	中野でエコを楽しみ、得するには？（参考）	11/8 エコフェア

DAY4 10月19日14:00～17:00

アクションDAY

1 中野ティーンズフェス

ティーンズ会議の中野ティーンズフェスで一部のチームがアクションをしました。

- ・情報発信チーム：
イベント告知の撮影
- ・環境チーム：
有志による小中高生のイベント伴走



2 提言に向けた準備・インタビュー

インタビューや次のアクションに向けた準備と2ヶ月後に迫った提言に向けて、議論を進めました。



3 アクション

各テーマごとにアクションを行いました。（一部別日にて実施）

- ・中野区検定勉強会イベント
- ・若者会議メンバーが創作した「ためまっぷなかのの歌」ライブイベント
- ・情報発信チームによる健康イベントの告知撮影



DAY5 11月23日10:00~17:00

提言を準備しよう！

1 アクション

健康チームのイベント実施を区役所1階で行いました。

- ・はじめての筋トレ
- ・はじめての椅子ヨガ



2 オリエンテーション

1ヶ月後に迫った提言プレゼンテーションに向けて、準備方法の確認を行いました。



3 提言準備

テーマごとに議論を進め、提言に向けた資料作りを進めました。



4 中野ティーンズ会議報告会見学

課外活動として、中野ティーンズ会議の報告会を見学し、小中高生の発表に対してコメントをしました。小中高生の熱のこもったプレゼンテーションに触れて、若者会議メンバーも自分たちの発表を見直すきっかけになりました。



DAY6 12月14日11:00~17:00

区長に提言をプレゼンテーションしよう！

1 提言プレゼンテーション

区長・所管課へのプレゼンテーションを全チームがやり遂げました。各チームの発表に対して、ティーンズ会議参加者等からもコメントをもらいました。

プレゼンテーションの詳細は次ページをご参照ください。

ゲスト：両角達平先生（日本福祉大学 社会福祉学部 専任講師）

両角先生は、若者が提言をしたことの素晴らしさに触れた上で、周りの若者の声も拾いにいくべきだと新たな視点を示しました。区長はどの年代でもまちづくりに参加できること、区民の声を組織的に反映する体制構築の重要性を強調しました。



2 関係団体によるブース出展

3つの若者会議関連団体がブース出展をしました。

- ・TEEN'S CAFE(中高生の居場所事業)
- ・ハレノバ
- ・中野区立図書館 中高生図書館プロジェクト



関係団体の紹介

- ・TEEN'S CAFE(中高生の居場所事業)

中野区が実施している中学生・高校生のための居場所事業です。勉強や雑談、ゲームなどで自由に過ごせる場所として、区役所等にて不定期（2か月に1回程度）で開催されています。参加は無料で、申し込みも不要なため、気軽に立ち寄ることができます。



- ・ハレノバ

中野区で令和5年度のチャレンジ助成基金の助成を受け、活動をスタートした任意団体です。地域に老若男女ゆるーく、みんなが繋がれるコミュニティを目指して、現在8名のメンバーで活動しています。若者会議出身者も複数名活動しています。



・中野区立図書館 中高生図書館プロジェクト
 中高生のアイデアで、図書館をより楽しい場所にしていく活動です。図書館イベントの発案や準備・当日の会場スタッフなど企画運営、ティーンズコーナーの装飾や飾り付け、オススメ本や特集コーナーの設置等自分たちで考えて実践します。



3 対話タイム

観覧者からコメントをもらいながら対話しました。

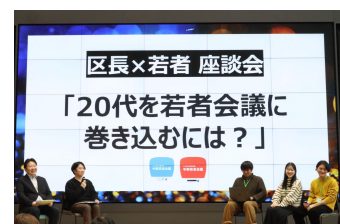


4 座談会

区長・ゲストの両角達平先生と対話しました。

トークテーマ：

- ・20代を若者会議に巻き込むには？
- ・若者会議をパワーアップするには？



5 振り返りワーク

ワークシートを使ってチームでふりかえり、お互いへの感謝を伝えました。今後の地域との関わり方の事例を紹介しました。



6 修了証の授与

事務局より全員に修了証を授与しました。



②チャレンジ詳細

2025年度の若者会議では、5つのテーマに分かれてチャレンジしました。この章では、それぞれの歩みを紹介します。

1. まちを知ろう（文化財）

いきなり政策提言はハードルが高い…と感じる方のためのコースです。中野の地域団体に参加・協力するアクションを通してまちを知り、つながり、ローカルな仲間をつくりながら活動します。

メンバー

ケーキ（大学生）

シオン（大学生）



チャレンジのきっかけ

2024年度の若者会議提言で、中野を知り、地域と交流することを目的としたチームを作って欲しいという声からこのテーマが誕生しました。2025年度の入門コースには中野区のことをより深く知りたい大学生が集まりました。特に中野区の文化財継承に着目し、どうしたら若者が文化財に興味を持つのか考えて活動していきました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	フィールドワーク	自転車で中野区の文化財を回る
9月	ヒアリング	文化振興・多文化共生推進課へヒアリング
10月	アクション	中野区検定勉強会の実施/調査
11月	アクション	中野区検定を受験
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

実際にメンバーで中野区内の文化財巡りをし、多くの人に文化財に興味を持ってもらうためのイベントの開催や、中野区検定が中野区のことを知る機会につながるのではと検定受験といったアクションをしたことがポイントです。



①中野区検定勉強会の開催

10/19(日)に区役所シェアノマにて、中野区検定勉強会を企画・実施しました。



②中野区検定を受験

実際にメンバーも中野区検定のテキストで勉強をし、検定を受験してきました。

4.チャレンジからの気づき

中野区検定って難しすぎませんか？

中野区検定ってとっても難しいんです！！

→忙しい若者世代には勉強時間の確保など

参加するハードルが高い。

内容をかみ砕いてハードルを下げるリソースが足りない..？

→中野をもっとライトに知る機会が必要なのでは？

5.区長への提言

若者の目に触れる機会の中に文化財があるために..

2. 中野の文化×謎解きイベント企画



中野区でやるなら。
江戸時代ノ
わんちゃん今昔物語
(犬屋敷と現代のドッグイベン
トをかけあわせ)
など？

報告会での提言

文化財を未来へ残すために日常から中野の歴史や文化財を意識してもらう仕掛けを作れないかと考えていきました。

アクションを通して、もっと気軽に中野を知る機会が若者に必要だという気づきを得て文化財が若者の目に触れるためのアイデアとして、以下3点を提言しました。

- ①若者会議内での機会の創出
- ②謎解きイベントの企画
- ③映えスポットとしての発信

5.区長への提言

若者の目に触れる機会の中に文化財があるために..

1. 若者会議の改善

● 来期の若者会議の体験会でアイスブレイクとして参加者が中野を知る機会を創出(謎解きゲーム、クイズなど)

● (来期の若者会議で若者向けに中野を知る企画をする)

● 若者が関心を持てるような発信

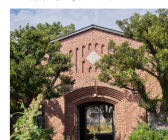
● 中野区と若者をつなげるメディアとしての若者会議のあり方をもう一度考える。

5.区長への提言

若者の目に触れる機会の中に文化財があるために..

3. 映えスポットのおすすめポイント発信

(例)中野区のポテンシャルがありそうな場所



旧中野刑務所正門



福王山慈眼寺



旧名家 山崎邸庭園

所管課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>中野区と若者をつなげるメディアとして歴史や文化財を広めるために中野若者会議を活用してはどうか。</p> <p>中野区への関心が高い若者会議メンバーが、中野の歴史や文化等を知るプログラムを実施してはどうか。</p> <p>例：来期の若者会議の体験回でアイスブレイクとして参加者が中野を詳しく学べる機会を創出（謎解きゲーム、クイズなど）</p>	<p>子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	<p>△</p>	<p>ご提案を参考に、委託事業者とも連携しながら来期若者会議における体験回などでのアイスブレイクで、中野を学べる機会を創出することなども含めてプログラムの検討を行います。</p>
<p>①中野区と若者をつなげるメディアとして歴史や文化財を広めるために中野若者会議を活用してはどうか。</p> <p>広報において若者が地域に関心を持てるような発信を行ってはどうか。</p> <p>②若者が文化財に注目する機会として、区のSNS等で文化財の「映えスポット」のおすすめポイントを発信するなどはどうか。</p>	<p>①子ども教育部 子ども・教育政策課</p> <p>②区民部 文化振興・多文化共生推進課</p>	<p>○</p> <p>△</p>	<p>①デジタル(SNSなど)とアナログ(区報、チラシ)双方の広報手法を用いながら、情報発信を行います。また、二十歳のつどいなど、若者が集まる場で中野若者会議を宣伝するなど、効果的な広報・周知方法について検討いたします。</p> <p>②本区にある文化財の特徴や見どころについては、すでに有料刊行物(『中野区の史跡』『なかのの史跡ガイド』等)で発信しているところではありますが、今後、より効果的な情報発信の手段・内容を検討します。また、必要に応じて情報提供や内容確認等の協力を行いますので、若者の皆様自身の視点で発信に取り組んでいただければと思います。</p>

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>若者が文化財に注目する機会をつくるのはいかがか。</p> <p>具体的には、中野の歴史・文化に関連づけた「イベント」を企画する。</p> <p>たとえば、江戸時代を舞台にするならば、下記のような案が考えられる。</p> <p>例①犬屋敷の時代背景を踏まえた謎解きイベント (歴史リアル謎解きゲームは台東区など他自治体でも前例が多い)</p> <p>例②犬屋敷の歴史を感じられるドッグイベント</p>	<p>区民部 文化振興・多文化共生推進課</p>	<p>○</p>	<p>例示いただいた「犬屋敷を題材とした歴史謎解き」や「歴史を感じられるドッグイベント」などの企画について、当課が主催することは想定していませんが、民間企業や若者の皆様が企画を進める際に、歴史的背景や内容の妥当性に関する確認等の協力は可能です。</p> <p>また、当区では、歴史民俗資料館を所有しており、展示や資料を活用した新たなイベント・企画づくりについて、若者の皆様と一緒に取り組むことは、今後の連携の可能性として前向きに検討します。</p>

2.若者施策を広めるには？

中野区の若者施策を区内外に広めるにはどのような工夫が必要なのでしょうか。若者会議に参加しながら、若者のための取組を学び、広めていくためのアイデアを考えます。

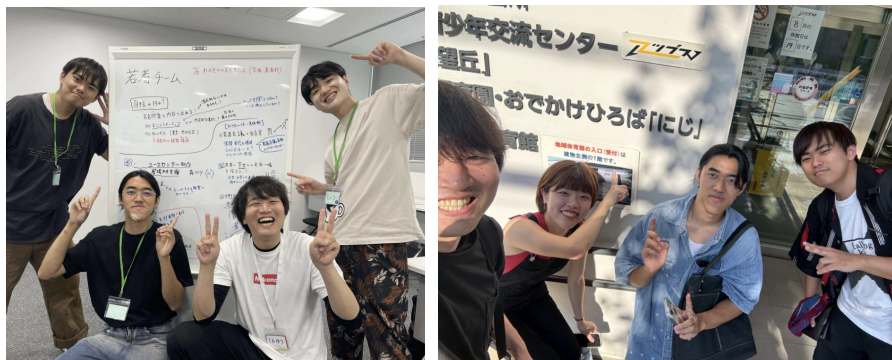
メンバー

ミウラ (大学生)

だいき (社会人)

もえ (社会人)

しゅう (社会人)



チャレンジのきっかけ

中野区の若者施策に課題感を感じていたり、若者会議自体の取組を区外に広めていきたい大学生と社会人メンバーが集まりました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	フィールドワーク	希望丘青少年交流センター 愛称「アップス」(世田谷区)
9月	フィールドワーク	まごころドーナッツ視察
9月	ヒアリング	子ども・教育政策課、育成活動推進課、 子ども・若者相談課
11月	アクション	わかものまちサミット参加
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

わかものまちサミットへ参加したり、他の自治体や区内の取り組みを実際に視察しました。中野区や全国の若者施策に関わる方へのヒアリングを通じた気づきを元に提言をしました。

わかものまちサミット:全国で「わかものまちづくり」に取り組む自治体関係者や若者当事者などが集い、互いの実践事例や研究から学び合う場として、2020年から開催。各地の取り組みを励まし合いながらネットワークを構築し、それぞれのまちで新たに“わかものまちづくり”を始めることで、日本全国への波及を目指す。

報告会での提言

調査の結果から、中野区の課題としてユースセンターという箱が無いことと、若者会議などに参加していない若者へのリーチの必要性について触れた上で、「若者施策先進区」を目指すアイデアを提案しました。

若者施策先進区を目指す具体策として、若者会議が使える予算の確保や区内若者へのアウトリーチ、区外への広報活動、再来年のわかものまちサミットの誘致を目指すことを提言しました。

5 区長への提言

②中野区内外に若者施策先進区としてアピールしませんか？

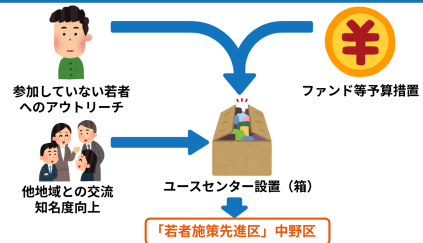
- ・区の強みとして若者政策をアピールしていくため、区外との関係でも、課外活動や他自治体訪問など、もっとネットワークを持った活動が必要ではないか

例 とも家庭庁「こどもまんなか社会実現プラットフォーム」

今年度も措置していただいた課外活動等の費用を引き続き措置いただくとともに、区内若者への働きかけのために若者の実態を把握し、効果的な広報等を検討いただきたい



3 アクションからの気づき (まとめ)



5 区長への提言

①まずは若者会議が使える予算を確保しませんか？

- ・ユースセンターの設置も重要だが、この瞬間でも決まっておらず、整備も長期的計画が必要
- ・他方、予算措置は年度ごとの船で対応できるため、即効性のある措置として検討いただけないか

例 新城市

日本初の条例で定められた若者議会が存在 活動に1000万という予算が付き、若者の提言の下議会で承認される体制



※現行のチャレンジ基金も存在するが、規模・執行のプロセスから、若者会議のスキームに馴染まない可能性も

5 区長への提言

③若者施策先進区の一つの指標として、再来年の若者のまちサミット誘致に向けて動きませんか？

- ・過去には金沢市や東海村で行われている
- ・サミットの誘致が、「若者施策先進区」であることの一つの証左になるのではない

来年度の枠はもう埋まっているとのこと、再来年の誘致を目指し、来年度の若者会議の活動も含め、中長期的な発展を描きながら、区と若者会議が連携していくことが重要

所管課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>まずは若者会議が使える予算を確保しませんか？</p> <p>すでにチャレンジ基金など既存の枠組みも存在するが、規模・執行のプロセスから、中野若者会議のスキームに馴染まない側面もある。即効性のある措置として検討いただけないか。</p> <p>事例として、愛知県新城市には、日本初の条例で定められた若者議会が存在。活動に1000万という予算が付き、若者の提言のもと議会で承認される体制。</p>	<p>子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	△	<p>若者のチャレンジを応援するための補助金制度について、他自治体の先進事例を調査しながら検討しているところであり、若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら検討を進めてまいります。</p>
<p>中野区内外に若者施策先進区としてアピールしませんか？</p> <p>①区外に対するアピール 区の強みとして若者政策をアピールしていくため、他自治体訪問など、ネットワークのよい活動が必要。今年度も措置していただいた課外活動等の費用を引き続き措置いただきたい。</p> <p>②区内に対するアピール 区内若者への働きかけのために若者の実態把握をお願いしたい。そして、それを踏まえて効果的な広報等を検討いただきたい。</p>	<p>①子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	◎	<p>①中野区の若者施策を区内のみならず、区外にも広げていくため、先進的な他自治体への事例調査のための課外活動費等については、引き続き予算を要求してまいります。</p>
<p>若者施策先進区として、再来年の「わかものまちサミット」誘致に向けて動きませんか？</p> <p>過去には金沢市や東海村で行われているサミットの誘致が、「若者施策先進区」であることのひとつのアピールになるのではないか。</p> <p>来年度の若者会議の活動も含め、中長期的な発展を描きながら、連携していくことを検討いただけないか。</p>	<p>子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	△	<p>「わかものまちサミット」誘致に向けては、過去に開催された自治体へのヒアリングを行うなどにより、具体的な誘致方法について研究します。併行して、サミットを誘致することによる効果なども勘案しながら、検討いたします。</p>

3.健康になるつながりづくりとは？

若者の「健康づくり」「つながりづくり」や「歩きたくなるまちづくり」のために必要なこととは？中野区が新たに推進するスマートウェルネスシティ構想（SWC）に沿って、実践・提言します。

メンバー

- さかD （社会人）
- みなみ （大学生）
- ノブ （社会人）
- てが （大学生）
- りん （社会人）
- 伊藤 （大学生）



チャレンジのきっかけ

中野で暮らしながら運動する習慣が作れていない人や散歩が好きな人、健康になることに興味がある人等が集まりました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	フィールドワーク	中野区立中野中学校（プール）・NYA CAFE
9月	ヒアリング	地域包括ケア推進課
10月	アクション	TAC中野で親子と若者向けイベントの開催
11月	アクション・提言準備	区役所ナカノバでヨガと筋トレイベントの開催
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

気付いたら若者が健康になれるまちになるためにはどうしたら良いのか、という視点で、区内外の調査やTAC中野様協力のもと、イベントを開催しアイデアを考えました。

報告会での提言

アクションと調査結果から、若者が健康への関心が低いことや広報の課題に触れ、つながりやインセンティブが若者の動機付けになり得ることを伝えました。

気付きを元に、住んでいるだけで自然に健康になれる3つのアイデアとして、健康情報の発信、健幸ポイントの対象年齢範囲拡大と健康イベントの開催について提言しました。



4. アクション実施報告

TAC中野と連携して3つのイベントを開催しました

①子育て世帯向け
親子体験活動「おしゃべり」

②若者向け
健康ポイント体験イベント

③若者向け
はじめての親子ヨガ

5. チャレンジからの気づき

	成果	課題
共通	<ul style="list-style-type: none"> 若者が「健康」イベントに関心がないことがわかった ナカノバでの開催が良かった 講師の方(フイ先生)が良かった 親子で参加度が高かった 対象(若者)より20-30代のお子様、具体的に「初心者」はじめての、を入れると参加しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 若者のみは集客難しい 「初心者」はじめての、の訴求重要 45分だと長く感じた。より短く 親子で参加度が上手く下がった ヨガはハードルが高いイメージ
学生 社会人	<ul style="list-style-type: none"> 区報と掲示板で見ている人いる(アンケート結果より) 	<ul style="list-style-type: none"> 「健康」イベントや生活習慣病予防などの長期的な健康に関心を持たせることが難しい 朝早いと参加しづらい 身内以外の参加者がのべ3人 高齢者が多いと参加しづらい傾向(アンケート結果より)
子育て 世代	<ul style="list-style-type: none"> 集客できた(定員達成) 子どもと実施できることに価値があった。 インスタ広告流入があった 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の保育園へのアプローチができなかった

6. 区長への提言

住んでいるだけで自然に健康になれる3つの「イ」の実現

	01 インフォメーション	02 インセンティブ	03 イベント
共通	<ul style="list-style-type: none"> 身近なアプリで完結したい(新たなアプリではなく、LINEとかで完結できると良い) インスタで広告を出してほしい 区報や区内掲示版に掲載してほしい 所長施設:特に民間の保育園や学校への経路の開拓 区役所に置いてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 健康ポイントの年齢制限の撤廃をしてほしい イベントに参加したらポイントプレゼント 有名講師にレッスンしてもらえ(民間との連携) 	<ul style="list-style-type: none"> 区イベントにぶつくて飛び入り参加にする 中野区主催×TAC(など) 定期的イベント(月1とか)(声として「笑っちゃうの?」) 話食会的感じで短いレッスンをイベントに混ぜる
学生 社会人			<ul style="list-style-type: none"> 開催時間(土日祝 昼以降・午後) 大学と連携 例:栄養学部主催 イベント
子育て 世代	<ul style="list-style-type: none"> 民間の保育園から インスタ広告流入があった 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと実施できること自体がインセンティブになっている 	<ul style="list-style-type: none"> 開催時間(土日祝 午前/午後)

6. 区長への提言

住んでいるだけで自然に健康になれる3つの「イ」の実現

01 インフォメーション 健康情報をよりデジタル・身近に発信しませんか?

理想:①SNS等:LINEやInstagramなど若者に身近なアプリを活用
②アナログ:イベントは、区報・掲示板・区役所1F設置・学校を通した周知

02 インセンティブ 健幸ポイントの対象年齢・範囲を拡大しませんか?

対象年齢:中野区に在住・在勤・在学の方(年齢制限はありません。)
対象範囲:ボランティア活動への参加、親子体験イベントへの参加など
(例)既に千歳県検ケ浦市で実装「そでがら健康ポイント」事業

03 イベント 同時開催、協力開催、定期開催、しませんか?

同時開催:中野区主催イベントの同日に開催することで参加するきっかけになる
協力開催:地域実業を活用することで多様なイベントで協力IP
定期開催:イベントの周知に加え、運動が習慣化する。「繋がり」ができる

所管課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>「インフォメーション」 健康情報のインフォメーションを改善 しませんか？</p> <p>① SNS等：LINEやInstagramなど若 者に身近なアプリを活用</p> <p>②アナログ：イベントは、区報・掲示 板・区役所1F設置・学校を通した周 知</p>	<p>地域支えあ い推進部 地域包括ケ ア推進課</p>	<p>●</p>	<p>健幸に関するイベントにつ いては、区報・掲示板・ホ ームページ・ためまっぷ・L INE等様々な方法で多くの 区民の方にお届けできるよ うにしています。今後も 色々な媒体でご紹介してい けるようにしていきます。</p>
<p>「インセンティブ」 健幸ポイントの対象年齢・範囲を拡大 しませんか？</p> <p>対象年齢：中野区に在住・在勤・在学 の方（年齢制限はありません。）</p> <p>対象範囲：ボランティア活動への参 加、親子体操イベントへの参加など</p> <p>（例）既に千葉県袖ヶ浦市で実装「そ でがうら健康ポイント事業」</p>	<p>地域支えあ い推進部 地域包括ケ ア推進課</p>	<p>×</p>	<p>現在実施している健幸ポイ ント事業は、3年間の実証事 業であり、対象年齢・範囲 を拡大する予定はありません。 実証終了後に検証を踏ま え、健幸ポイント事業の実 施や対象年齢などを検討し ていきたいと考えていま す。</p>

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>「イベント」 健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？</p> <p>【同時開催】 ①中野区主催イベントと民間主催イベントを同日開催できる仕組みをつくりませんか。そうすることで、相互の参加者の回遊を実現し、健康イベントへの参加のきっかけが生まれます。</p>	<p>地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課</p>	<p>×</p>	<p>①区と民間イベントの同日開催の仕組み、を作ることは現時点では難しいと考えていますが、当課で実施しているNIC+協定の事業者と共催で広く場所を使って、より幅広い層の区民の方に興味を持ってもらえるようなイベントを開催する工夫をしています。</p> <p>②③区では、健幸に関する情報が得られたり、健幸に関する測定ができる「中野健幸どまんなか市」を令和6年度より定期的に開催しています。また、地域でも区民とNIC+事業者や学生等と一緒に定期的な健康イベントをしています。NIC+協定事業者の協力を得ながら、区民の方の健康への意識が高まるように区内全体に広がるようにしていきたいと考えています。</p>
<p>「イベント」 健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？</p> <p>【協力開催】 ②区と地域で健康イベントを協力開催する事例を増やしませんか。そうすることで、イベントの開催テーマを多様化したり、魅力UPが実現します。</p>		<p>●</p>	
<p>「イベント」 健康イベントの参加者数を増やすために工夫しませんか？</p> <p>【定期開催】 ③健康イベントを定期開催しませんか。そうすることで、周知の強化に加え、運動を習慣化する区民の「繋がり」ができます。</p>		<p>●</p>	

4.中野でエコを楽しみ、得するには？

持続可能な未来のために、私たちの生活をエコにしよう。情報発信やイベントを通して、環境のためのプロジェクトに取り組みます。

チャレンジのきっかけ

2024年若者会議の環境チームが提言した「なかエコアライアンス」の中で、エコフェアへの継続出展やティーンズ会議との連携を反映する形で2025年の活動テーマに環境を設けました。若者会議ではチームは結成されず、有志でティーンズ会議と連携した取組を行いました。



アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	活動開始	
8月	なかのエコフェア準備	ティーンズ会議と連携
9月	なかのエコフェア準備	ティーンズ会議と連携
10月	アクション	ティーンズフェス
11月	アクション	なかのエコフェア出展
12月	活動報告プレゼンテーション	

報告会での活動報告

ティーンズ会議が主体でなかのエコフェアのイベントの出展に挑戦をしました。若者会議の参加者が有志で、情報発信のサポートやイベント当日の運営サポートをしました。

実現した「共創」の体制



5.自由に挑戦しよう（情報発信）

自主的なアイデアに沿って地域活動を実践し、区長に提言します。若者会議の修了後も区の制度などを活用しながら、継続的な活動へつなげていくことを目指します。今年度は昨年度の提言を引き継ぐ情報発信チームが発足しました。

メンバー

北地 （社会人）

コウヘイ （社会人）



チャレンジのきっかけ

2024年若者会議の情報発信チームの提言を引き継ぐため発足されたチームです。中野の若者向けの情報発信に課題感を持っている社会人が集まりました。

アクションの内容と結果

時期	内容	補足
7月	チーム結成	
8月	フィールドワーク	情報発信ミーティング準備会の開催
9月	ヒアリング	文化振興・多文化共生推進課、子ども・教育政策課、広聴・広報課
10月	アクション	SNSによるイベント告知 区役所シェアノマでのライブ
11月	アクション・提言準備	情報発信ミーティングの開催
12月	提言プレゼンテーション	

チャレンジのポイント

中野区の情報を一元化できないか、という観点で、情報発信に関わる区役所所管課や民間団体を集めた情報発信ミーティング、ためまっぷなかのの歌の作曲、SNS発信、イベント告知やライブなど多くのアクションを通してアイデアを考えました。

報告会での提言

報告会では、ためま株式会社様にご好評いただいた創作ソングを実際に演奏しました。

その後の発表では、実践と調査から見えてきた課題を提示した上で、情報発信の一元化に近づけていくために強化すべき3つのポイントを提言しました。

- ① 情報発信ミーティングの年1回開催
- ② 「ためまっぷなかの」の改善
- ③ 若者のサークル活動の支援

提言③

若者が地域で活動できるサークルなどのコミュニティ活動を支援してほしい

- ・サークルを紹介できるイベントなどを作る
- ・団体の募集が成功するよう周知する
- ・若者が参加する区事業において参加者間の連絡先交換は有効
- 例：シティプロモーション「ナカナカ会」など

NPO団体などの交流する機会があります

居場所での交流イベントがあります

公式クラブなども有効的に導入出来ないの？

24



提言①

情報発信ミーティングの年1回開催へ

西伊豆市、豊田市では市の職員と民間で連絡協議会がありフィルムコミッションなども兼任している。

提言があれば考える

①区が主導する場合

自主テーマなら！

- ・次年度以降も継続的に中野若者会議の活動テーマにできないか？
- ・若者会議のような形（協議会など）で、開催は出来ないのか？

②民間が主導する場合

若者会議だから参加した

- ・区の所管課を明確にできないか？
- ・取組として自立する場合、区が支援する仕組みはないか？

20

提言②

「ためまっぷなかの」をよくするには？

機能を強化してほしい

営利目的は禁止！

- ・情報を探しやすいシステム改善
 - －ヘッダーのタグの複数選択は可能か
 - －「探す」機能を整理できないか
 - －「探す」機能に地域タグを追加できないか
- ・掲載している地域活動団体と連絡をとりやすくするには？
- ・コミュニケーションできる機能を追加できないか

周知を強化してほしい

ブースは出しています

参加者で投票しています

- ・SNSを活用した周知強化
- ・掲載者を表彰するのはどうか？
- ・周知イベントの強化
 - －地域活動フェスティバルに愛称を追加
 - －若者会議やティーンズ会議との連携を強化できないか？

22

まとめ

単年度の大変さを痛感！

情報発信ミーティング

毎年1回開催を目指す運営する団体を決めたい

委員会などの委託でも協議会を！

掲載が分かりやすく！

ためまっぷなかのを改善したい

日常的に見るサイトへ

機能を強化したい周知を強化したい掲載者のMVP表彰を実現！

有効的に活用しよう

サークル活動の活発化

社会人サークル活動を推進してほしい

出合いを大切に

25

所管課からのフィードバック

◎:全部実施可能 ○:一部実施可能 ●:実施済み △:検討中 ×:実施不可

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
	企画部 広聴・広 報課	△	(情報発信ミーティングの開催について) 若者会議の中で開催するものについては、可能な限り参加・協力できるよう都度調整します。 民間が主導する場合の所管課について、情報発信の内容やターゲットによって担当所管が異なりますが、区公式HP・LINE・X等による情報発信については、広聴・広報課が所管となります。
<p>情報発信ミーティングを年1回開催できないか。</p> <p>中野区が主催できないか。たとえば他自治体の事例としては、西伊豆市、豊田市では市の職員と民間で連絡協議会がある。民間が主導する場合、区の所管課を明確にできないか？また、民間の取組として自立する場合、区が人的・資金的に支援する仕組みはないか？</p>	区民部 文化振 興・多文 化共生推 進課	△	(情報発信ミーティングについて) 中野区が関わる会議体や協議会は、様々な課題により多数存在しています。現在も、中野区観光協会など民間の団体とは、適宜情報や意見の交換をしていますが、情報発信というテーマで新しい会議体や協議会、ミーティングなどが必要であるかは、随時関係者の意見などを聞いてまいります。
	子ども教育部 子ども・ 教育政策 課	△	(人的・資金的に支援する仕組みについて) 若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら、若者のチャレンジを応援する補助金制度について検討を進めていきます。 また、地域で継続的な活動を円滑に行うための方策についても併せて検討を行います。

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>「ためまっぷなかの」の機能を強化してほしい。</p> <p>①情報を探しやすくするシステム改善 - ヘッダーのタグの複数選択は可能か - 「探す」機能を整理できないか - 「探す」機能に地域タグを追加できないか</p> <p>②掲載している地域活動団体と連絡をとりやすくできないか</p> <p>③コミュニケーションできる機能を追加できないか</p>	<p>地域支えあい推進部 地域活動推進課</p>	<p>△</p>	<p>「ためまっぷなかの」は区民公益活動団体の活動支援として、区が「株式会社ためま」に運営を委託しています。</p> <p>機能についてご提案いただいたアイデアは、部として検討した上で、株式会社ためまと確認・調整が必要となります。</p>
<p>「ためまっぷなかの」の周知を強化してほしい。</p> <p>①ためまっぷを効果的に活用した掲載者を表彰するイベントを行うのはどうか？YouTubeやTik Tokなどの大手プラットフォームも同様の施策を行っている</p> <p>②地域活動フェスティバルの愛称を「ためまっぷフェス」に出来ないか</p> <p>③X(Twitter)などの活用は出来ないのか。週1回でも今週の行事を発信すると有効</p>	<p>地域支えあい推進部 地域活動推進課</p>	<p>△</p>	<p>「ためまっぷなかの」は区民公益活動団体の活動支援を目的とした電子掲示板です。</p> <p>「ためまっぷなかの」の周知強化に関しては、部で検討し、区民公益活動団体の活動支援につながるものは、事業者と確認・調整します。可能な限り多くの情報を掲載し、閲覧していただけるよう、引き続き周知の工夫に努めます。</p> <p>「地域活動フェスティバル」は地域活動団体の活性化支援として実施しています。「ためまっぷなかの」は団体支援のツールのひとつであり、事業者と連携して地域活動フェスティバルを実施していますが、愛称にすることは考えていません。</p>

提言の要旨	担当部 (担当課)	対応 方針	説明・理由
<p>若者が地域で活動できるサークルなどのコミュニティ活動を支援してほしい。</p> <p>①若者サークルを紹介できるイベントなどを作る</p> <p>②若者の団体の募集が成功するよう周知する</p> <p>③若者が参加する区事業において参加者間の連絡先交換を任意で促す 例：シティプロモーション「ナカナカ会」など</p> <p>④ナカナカ会のように区の公認でサークルを作るのはどうか。または、民間による若者のコミュニティ活動を認定することは出来ないか。</p>	<p>区民部 文化振興・多文化共生推進課</p>	<p>○</p>	<p>(若者のコミュニティ活動支援について)</p> <p>「若者」というくくりではありませんが、「ナカナカ会」、「ナカノ観光レポーター」、「ナカノミライブプロジェクト企業連携ワークショップ」などで、それぞれのテーマに沿った新しい関係や交流の創出に努めており、今後も取り組みを継続していきます。</p>
	<p>子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	<p>△</p>	<p>(若者の活動支援について)</p> <p>若者会議や次年度実施を予定している若者実態調査などで、当事者である若者の声やニーズを聴きながら、若者のチャレンジを応援する補助金制度について検討を進めていきます。</p>
	<p>子ども・若者相談課</p>	<p>○</p>	<p>若者フリースペース「まごころドーナッツ」では、地域での若者同士の交流が広がるようプログラムの内容を工夫するとともに、利用者ミーティングを通じて若者と一緒に内容を考えるなど、主体性を尊重した運営を行っています。</p>
<p>次年度以降の若者会議の活動テーマに、情報発信を位置づけることはできないか。具体的な活動内容として下記を想定している。</p> <p>①情報発信ミーティングの運営協力</p> <p>②ためまっぷなかのの機能改善</p> <p>③地域活動のイベント連携（地域活動フェスティバル等）</p>	<p>子ども教育部 子ども・教育政策課</p>	<p>△</p>	<p>次年度以降の若者会議の運営における情報発信チームの設定については、これまでの提言内容や若者自身の主体的な参画が継続できるかという観点を踏まえ、検討していきます。</p>

寄せられた感想

プログラムを終え、参加者はワークシートを活用した振り返りや、プログラム全体に対するアンケートに臨みました。ここでは、寄せられた回答をもとに、2025年度の若者会議4期に対する感想や評価を紹介します。

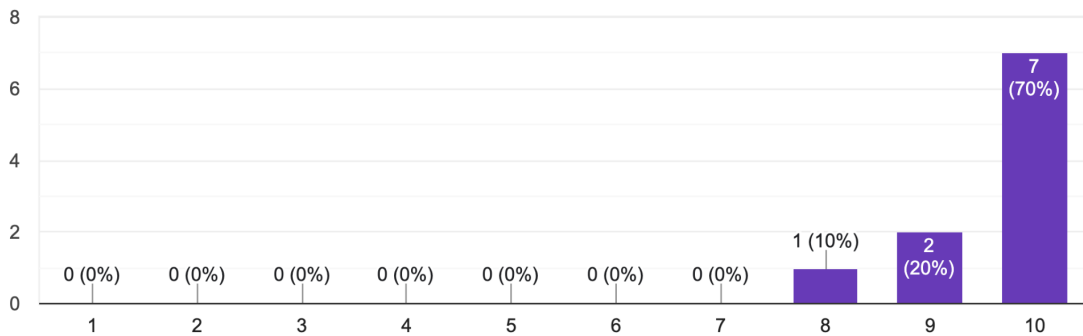
参加者アンケート（無記名）

若者会議全体に対する平均満足度：8.7/10

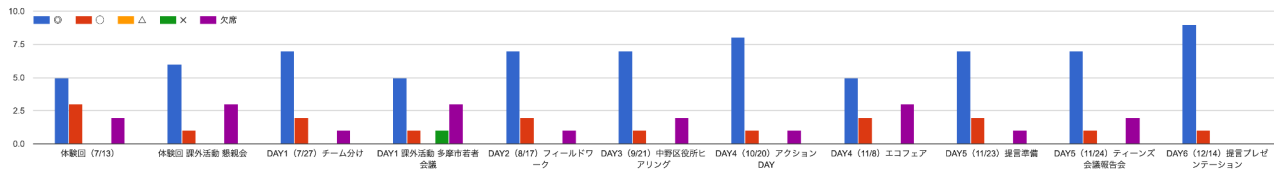
プログラムごとの満足度

今年度のプログラム満足度はどのくらいですか？

10件の回答



今年度の若者会議プログラムを振り返って感想を教えてください。

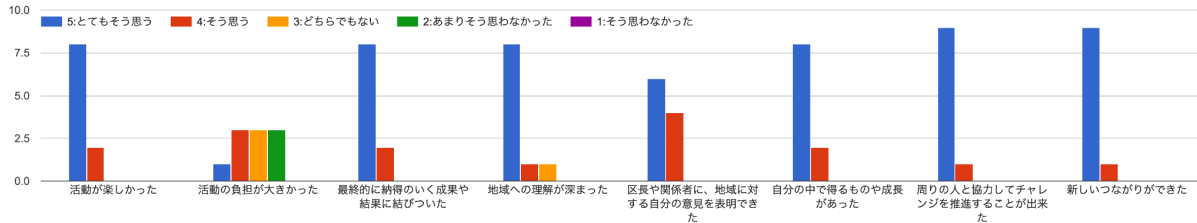


総合満足度が昨年よりも1.5ポイント上がりました。プログラムごとでも、全期間を通して比較的安定した満足度の高さを維持しました。その中で、任意で参加する課外活動においてモチベーションにバラツキがあったことがわかります。最終提言の満足度は例年同様非常に高いです。

若者会議についての評価

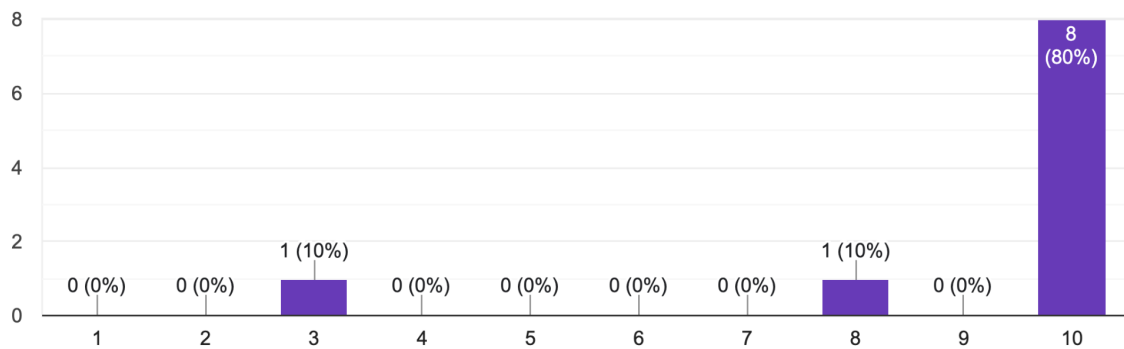
活動の負担感にはバラツキがある一方、活動自体の楽しさ、納得感や成長感、地域理解、そして新しい繋がりを作りながら政策提言ができたことへの評価は非常に高かったです。

今年度の若者会議についての評価



メンター事務局に対する平均満足度：7.5/10

メンターや事務局との関わり（サポートを受けたり...一緒に活動したり）の満足度はどのくらいですか？
10件の回答



メンターや事務局に対する満足度にはバラツキがありますが、比較的高い満足度でした。

全体に対する意見

プログラムについて

- ・いろいろな方と関わることができた！具体的なアクションがいろいろな方面の協力によってできた。
- ・情報発信の活動をきっかけにためまっぶなかが若者向けに仕様の変更をしてくれた。
- ・プログラムに全体として慣れてきて、スムーズだった。
- ・同じ中野区民と楽しめた。
- ・やろうと思った事がちゃんと出来、行政でも民間でも出来ないことが出来る。

チームについて

- ・とてもバランスの良いチームで、効率的に良い提言をつくりあげることができた。
- ・グループ内で自分の役割を果たせたのも良かった。
- ・チームで協力して活動できた！

メンターについて

- ・全体の流れについて懇切丁寧に指導してくれたため。兔に角やり易かった。
- ・安心して関わられました。
- ・調整やメールのやり取りなど、大変サポートしてもらえた！
- ・連絡事項が上手く出来てなく、ダメな事、いつまでが具体的にないまま動いていたので、途中で変更などが増えた。

課題に対する意見

プログラムについて

- ・各回の時間がもう少し長かったら良かった。
- ・もう少し集まりたい。

- ・この活動がもっと続いて欲しい。
- ・初回体験回→第1回テーマ決めの再参加率の向上。参加者目線でもう少しできることがあったかなと思っています。
- ・みんなの意見をまとめるや誰かが置き去りにならないようにすると進みが遅くなるので、上手く調整して早く進める方法を取るべき、また提言を早くする事で、次年度に提言が生きるのと返答を年内に終わらせる事で、年始に最後のアクションなどで、次年度に繋がられる。

チームについて

- ・なかなかメンバーが忙しくて揃うことがなかったのが残念だった。

アクションについて

- ・若者をターゲットとしたイベントの集客が難しかった。

運営・サポート体制について

- ・欠席したときのケアがあんまりない。議事録的なものがないので何をしたのかはちょっと、解像度が低くなった。

観覧者アンケート

12月の報告会には、区長だけでなく、区議会議員、参加者のご家族、区役所関係者、他自治体や地域関係者など多くの方が観覧にいらっしやいました。観覧の皆様からいただいたアンケートおよびコメントの一部をご紹介します。

	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
来庁者	昨年中野区に転入してきたばかりなので、地域の歴史や名所についての情報が知れて良い機会になりました。	
来庁者	中野若者会議、初めて知りました。大学生はすごいと感心しました。私の大学生の時を思うとただただ、すばらしいと尊敬するばかりです。 中野は23区の中でかなり半端な立ち位置だと思っていたので若い方が、頑張っていることに驚きました。中野は小さいから、見てまわるのもイイなと思いました。	
来庁者	若者へのサポートの必要性を、若者のみなさん自身が課題を見つけ、施策やアイデアを起案していただいていることに、大変意義と将来性を感じることができました。協力できることやサポートできることがあれば是非やっていきたいと思いました。中野の若者のみなさんを応援していきたいと思います。	区長もおっしゃっていた通り、本来は社会の30~50代の現役世代や60代以上の高齢世代が地域や次世代へつながることに頭を使うべきなのに、若者にやらせてしまうことに課題があるのかな、とも思いました。
来庁者	素晴らしかった。	いい時間になった。
来庁者		中野に興味があるのでこの活動を続けて欲しい。(特に歴史)

	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
来庁者	良くできていると思う。	若者に限定しなくて良いと思う。
発表者の知人やご家族	①を観覧しました。文化財の保存、大変だと思いますが自分の地元は何もない所でした。保存できる文化財があることが財産だと思います。映画の一場面やSNSで投稿することで存在を継続させていただければ幸いです。 中野学校跡地は興味があります。(ブラックなイメージですが何を教えていたのかは魅力的です) ③「初心者・はじめての」はたしかに参加しやすいと思います。	住む前の中野の印象はサブカル、時計、サンプラザのイメージでした。住んでみて住み続けたいと思う理由は何か自問を促される会でした。参加させて頂きありがとうございました。
発表者の知人やご家族	①②を観覧しました。気付きをいただいた会でした。①中野に住んでいても文化財については知らないことばかりなので、せっかくある貴重なものなので、知ることができる機会がもっとあると良いと思いました。 ②確かに運動をする機会はあまりなくて、区の事業で運動できるものがあれば、良い機会になると思いました。	
発表者の知人やご家族	1つめの発表の「文化財について」ですが、中野区の文化財を「ロケ地として誘致」するのが良いんじゃないかと思いました。沼袋の「氷川神社」は「東京リベンジャーズ」で使われていて「聖地巡礼」をしている人が増えていると聞きました。	
他自治体関係者	・今年度の「若者会議」の仕組みづくりが良かったと思います。 ・プレゼンテーションも非常に良い内容だったと思います。(ストーリー作成、プレゼン資料)	後日、動画等も公開されると思いますので楽しみです。

	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
他自治体関係者	途中参加でしたが、のびのびとご自身の考え方で区のことを考え、行動している姿が印象的でした。	どの年代でもまちづくりに参加できる（長老だけでなく！）という最後の話は古い自治体にいる立場からすると羨ましく感じました。 こういう町に変えていきたいと改めて感じました。
他自治体関係者	①入門チーム 文化財を若者に認知されるための提案はおもしろかった。中野区検定の予備校の面白さはあると思いました。 ②健康チーム 若者が健康に興味がないという結論は面白かった。 ③情報発信チーム 多様な構成団体だとなかなか協議会を作るのは難しいのはとても理解できた。 ④環境チーム 若者と環境は健康と同様興味関心を惹くために何か仕掛けが必要 ⑤若者施策チーム 場の重要性、金銭的支援の必要生は全く同意する。	発表の間にあった交流会がとてもよかった。
中野区内地域団体	色んな施策が知れて面白かったです。実現に結びつくものが多いといいですね。	
中野区内地域団体	地域のつながりを深める活動を知ることができました。活動していただいている方々へありがとうございます。	
中野区内地域団体		若者先進区を目指した取組に期待をしています。応援しています。

	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
中野区内 地域団体	素晴らしいです。	
若者会議 過去の 参加者	みなさん堂々としていて素晴らしかったです。過去の参加者よりも、「憂いている」感がなく、前向きにチームで取り組んでいると感じました。	区が若者会議と掛け合わせているテーマっぽいもの？「健康」などは、“区と共に考えているテーマ”など頭にかいてあると良いなと思います。なぜそのテーマを選んだんだろう？と考えてしまいました…
若者会議 過去の 参加者	皆さんアクションされていてすごいと思いました。若者会議のリピーター者の割合が一定数あり、活動が毎度をこえて熟されているのが素敵。	
若者会議 過去の 参加者	提言で多く挙がっていたのは、若者のつながりの支援だと思う。そこから、気軽に集う場所やメンバー募集、資金という課題が生まれている。 解決策は、OGOB「なかのWA」のパワーアップだと思う。期間のしぼりが無く、年上限も無く、商工会議所等からの寄付金（自由に使えるお金）の受取窓口になる。	
中野区役所 関係者	ティーンズ会議報告会、中学生意見発表会を見た後なので、より具体的、現実的な提案、提言が示される若者会議の活動のすばらしさや意義を感じました。	中高生にも見て欲しい報告会でした。登壇者がスライドを隠さない立ち位置の工夫がほしいです。

	プレゼンテーションへの感想	そのほか感想
中野区役所 関係者	自分らしさを発揮して、どのように、中野のまちづくりに参画していくのかをよく知ることができました。応援しています。ありがとうございました！！	
NPOカタリ バ関係者		たくさん刺激をもらいました。パワーアップを楽しみにしています。
観覧者	プレビンの中身はとてもよかったと思います。その上で細かな言葉のチョイス、表現の仕方、プレゼン構成などをもっと詰めていくともっと住民に伝わると思います。	若い人たちが主体的に活動していること、大変、心強く思います。ヨーロッパだけではなく、日本版、あるいは、中野版、若者社会（共生社会）の実現に向けてがんばって欲しいです。

報告会では各チーム模造紙を用意して、観覧者より付箋でコメントを貼っていただきました。

まちを知ろう（文化財）

中野区検定勉強会

11/30 実施

Q 中野区内の鉄道で一番古いのはどれ？

- A. 西武新宿線
- B. JR 総武線
- C. 東京メトロ丸の内線
- D. JR 中央線
- E. 東京メトロ東西線

答え
↓
この下です！

興味のある人の年代

感想は、ころころ ↓

中野区で興味のある雑学は？

銭湯

食べ物

スポーツ

教育

歴史上の人物

意見光

ア・マ・マガ

中野区の歴史

文化財に注目してのびのびと楽しみたい。インスタグラムで発信して、若い世代にも楽しんでもらいたい。

① 入門から知りたい。多世代交流協会の開催をどうにか？（世代間や地域間の人との交流を）

② 入門から「まちを知ろう」現在文化財の魅力を伝える（講座やイベント）

③ 中野区立図書館の、児童館との連携を強化して、子どもにも楽しんでもらいたい。


④ 文化 COTEN ラジオ どの歴史の番組も面白いので、ぜひ取り上げてほしい。

⑤ 中野区立図書館の、児童館との連携を強化して、子どもにも楽しんでもらいたい。

⑥ 中野区立図書館の、児童館との連携を強化して、子どもにも楽しんでもらいたい。

若者施策を広めるには？

若者施策チーム! in 中野



Q 中野区は若者のチャレンジを十分に
応援できていると思いますか??

Q 若者議会に1000万以上の予算が付く
自治体は?

①中野区 ②世田谷区 ③新城市 ④東海村

感想記入欄

① 若者チーム
中野区は、若者のチャレンジを十分に応援できていると思いますか??

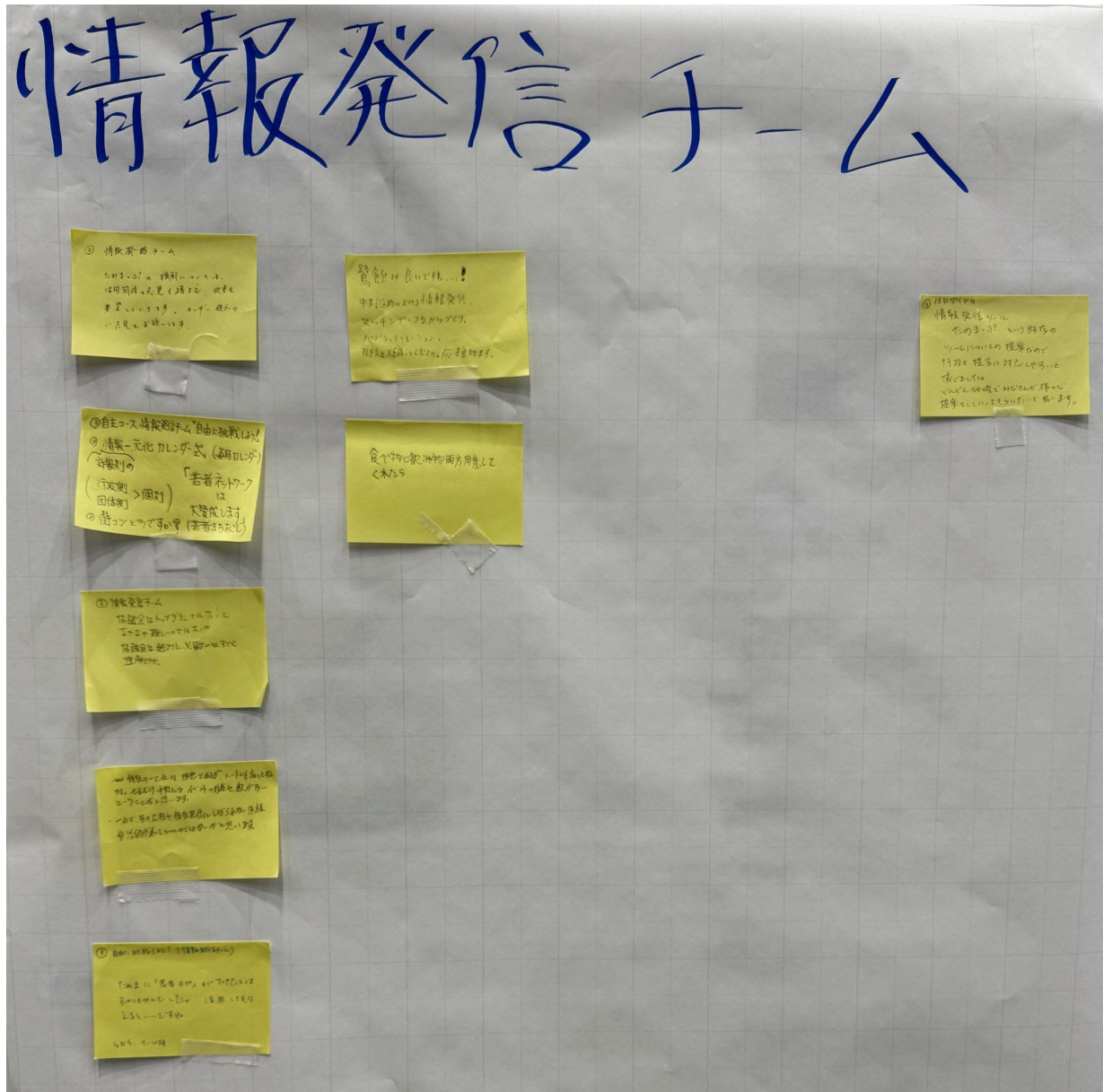
② 若者議会に1000万以上の予算が付く自治体は?
中野区、世田谷区、新城市、東海村

③ 感想記入欄
中野区は、若者のチャレンジを十分に応援できていると思いますか??

④ 若者施策チーム
中野区は、若者のチャレンジを十分に応援できていると思いますか??

答え
③

中野でエコを楽しみ、得するには？





中野区は、若者のチャレンジを応援します。

若者会議4期の提言にこめられたヒントを、次のステップにつなげられるよう、事業を進めていきます。

今後とも、みなさんのご参加をお待ちしています！